

朗読者 in KAMAKURA

第十二回鎌倉芸術祭 参加企画

第一部

朗読者公演

泉鏡花「外科室」

演出◎北川原梓

言葉◎奈佐健臣 フルート演奏◎渡部寿珠

慎ましく秘められた恋が
永遠の愛へ凍結する瞬間

|||| 小説「外科室」について ||||

「外科室」は、明治28年に発表された短篇小说です。泉鏡花22歳の時の作品で、鏡花文学の原型をもっともよく示す初期の代表作として知られています。この作品が「観念小説」と称され、鏡花は新進作家の仲間入りを果たしました。

若き日に交わした一瞬の視線。その視線が九年後、外科医師と患者の貴婦人として再会した男女を一つの幕切れへと向かわせる。それは外科手術のさなか、熱情を凄冷さで閉じ込めるようににして……。

この陰影深い美世界は現代においても多くの人々に影響を与え、1992年には歌舞伎俳優・坂東玉三郎が監督、吉永小百合主演という華々しい布陣で映画化され、話題になりました。

一度として交わされない愛に殉じた男女の一瞬と一生。泉鏡花独特のロマンティシズムで織り上げられた、透き通る程に純粋な愛の形が鮮烈な作品です。



2017年1月「外科室」福岡山梨林寺公演



奈佐健臣 Nasa Kenji

俳優

大沢事務所所属・状況劇場出身
舞台・映画・大河ドラマ出演の他、
千本を越えるCMナレーションも
手がけ、高い評価を得ている。
現在、格闘技、釣り、スポーツ、
バラエティと多岐にわたる番組
のナレーションをそれぞれ担当。



渡部寿珠 Watanabe Suzu

フルート奏者

桐朋学園大学音楽学部、学部・
研究科修了。ルーマニア国際音
楽コンクール室内楽部門第3位受
賞。2016年ルーマニア国立ブラ
ジヨフィルハーモニー交響楽
団にソリストとして招聘される。
モットーは「ジャンルレス」

第二部

鏡花と清方

ふたりの芸術家の交流を紐解く文化講座

—「外科室」と「通夜物語」を中心に—

講師◎鎌倉市鏡木清方記念美術館学芸員
今西彩子

※途中、朗読者演者による、泉鏡花「通夜物語」の一部朗読を予定しています。

|||| 鏡木清方 鏡花との親交 ||||

鏡木清方は、1878年に東京で生まれます。挿絵画家を志し、16歳頃から新聞などで挿絵を手がけるようになります。早くから鏡花の小説の熱烈な愛読者であった清方は、鏡花の作品に挿絵を描くことを目標に励みました。そして、鏡花28歳、清方23歳を迎える1901年、二人はついに会います。初対面ながら旧知の友のように語り、鏡花は清方に挿絵を描いてほしいと熱望しました。以降、「鏡花作 清方画がく」という二人の親交は、鏡花が65歳でその生涯を閉じる1939年まで、約40年間続きました。

本講座では、鏡花の小説「外科室」と「通夜物語」を中心に二人の交流について解説します。

タイムスケジュール ※進行状況して、若干の変動がございます。ご了承ください。

13:00 開場
13:30 第一部「朗読者」公演 | 泉鏡花「外科室」
14:30 第二部 文化講座 | 鏡花と清方—「外科室」と「通夜物語」を中心に—
15:10 開場

※演出の都合上により、開演後の入場はご遠慮いただいております。予め時間の余裕を持ってお越しください。

朗読者とは、2013年から始まった文学とアートの文化プロジェクト。首都圏を中心に28回の公演を開催してきました。

本を持って読み上げるのではなく、小説の言葉は一字一句そのままに、俳優がお芝居のように演じ語りかける時間。音楽と照明・美術が更に空間を広げ、それはまるで「飛び出す絵本」のような公演。舞台と客席の境界を消して、参加者を文字の世界へ誘います。朗読者は、もはや朗読といって朗読でない、「まったく新しい体感型の朗読」です。

公式サイト <http://www.roudokusha.com/>

詳細

2017年10月21日 土曜日

時間 13:30~ ※13:00開場

料金 3000円

会場 極楽寺客殿 神奈川県鎌倉市極楽寺3の6の7

■交通■

□江ノ島電鉄【極楽寺駅】より徒歩2分

※駐車場はございません。

お車で来場の際は、各位近隣のコインパーキングをご利用いただきませう、お願い申し上げます。



チケットお取り扱い / お問い合わせ

■朗読者実行委員会

□HP予約フォーム <http://www.art-kouba.com/roudokusha/>

□TEL 048-222-2369 / 090-3080-4234 (担当 金子)

□MAIL webmaster@art-kouba.com

□FAX 048-222-2024

お名前、ご住所、電話番号、人数を明記の上、送信ください。

■鏡木清方記念美術館 受付窓口 神奈川県鎌倉市雪ノ下1-5-25

※チケットのお取り扱いのみとなります。

お問い合わせは、朗読者実行委員会へお願いいたします。

※未就学児童の入場はお断りしております。ご了承ください。

鎌倉市鏡木清方記念美術館について

日本画の巨匠・鏡木清方(かぶらききよかた)は1878年、東京に生まれ、幼い頃から文芸に親しみ育ちました。挿絵画家として活躍した後日本画に向かい、清らかで優美な女性の姿や、東京下町の生活をいさゝきと描き、近代日本画の大家として知られています。

1946年に鎌倉材木庵に移り住み、1954年、文化勲章受章の年に、美術館のある雪ノ下1に居を構え、1972年に93歳で亡くなるまで過ごしました。記念美術館では、年間を通して様々な作品が展示されます。朗読者公演と併せてお立ち寄りいただければ幸いです。



企画展「手元で愛でる、卓上芸術 一秋の情趣とともに」

平成29年9月2日(土) ~ 10月25日(水)

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 毎週月曜日

観覧料: 一般200円 小中学生100円

交通案内

JR横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車
小町通りを北に徒歩7分左折
※駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。



宣伝美術 / 木立十

協力 / 鎌倉市鏡木清方記念美術館
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団

製作 / 快飛行家スミス

主催 / 朗読者実行委員会

鎌倉芸術祭

文学を、体感する。

